

## 「防災」セミナー開催後のご要望・ご感想・ご質問へのお答え

この度は弊社WEBセミナー防災にご参加を頂きまして心より御礼申し上げます。

頂きましたご質問等にお答えさせていただきます。

**Q1：豊橋の災害時の給水の現状を知り、不安が残ります。ペットボトルをこれ以上増やすのも場所をとるので、空気中の水分を飲料水にかえてくれるものを購入を検討しています。牧平社長はどう思いますか？**

A1:原理はエアコンの結露するドレイン水を浄化フィルターを通して飲むようにしたものと思います。下記のサイトにあるモノですかね・・・

<https://youtu.be/k3z-i0qeru0>

しかし、価格と製造会社の信用性が私にはイマイチ解りませんので今の所判断は出来ません。購入する場合にはよくよく調べて失敗をしない様な注意が必要ですね・・・原理としてエアコン代プラスろ過装置代が適正価格です。

備蓄も色々なケースで手に入るように多重的選択肢を確保する事が重要です！プランA、プランB、プランC・・・となるべく多岐に考えて下さい。

**Q2:井戸のある場所は地下に水があると思うので地震の際はやはり危ないのですか？**

基本地下水脈が浅い所は液状化の危険性があります。しかし、多くの仕事に使う井戸はもっと深く100mとか打ち抜き井戸でない水質的にも心配がありますね・・・豆腐屋さんとかこんにやく屋さんの井戸は200mなんてものもありますよ！もちろん、川の傍や山の麓には地下水脈が通っていますから・・・田舎の井戸などは浅くても使えるものがあります。

**Q3:ローリングストックについて、備蓄食料品の消費があまり進まず、賞味期限チェックを定期的にしなければならないので、上手く回っていないような気がします。**

アマゾンや各種スーパーの定期購入を選択して自動的にローリングストックが出来るシステムを作る事です。備蓄は台所から見える所が最適と思いますよ！！

冷蔵庫の横に備蓄棚を二つ作るのが最適です。1ヶ月で一つの棚の商品を消費して・定期購入品は隣の棚に収納します。防災の備蓄品という観点から賞味期限のある日常使いのものを前倒して購入する発想が重要です。

## Q4：明治以降の人口増加→これからの人口減での苦難の人生は日本のみ？に起こるのは、なぜでしょうか。また他の先進国はどのようなのでしょうか？

少子高齢化は日本が一番早くに來ます。今後20～30年遅れで先進国の人口も減り始めます。世界人口は今後も増え続けますがいずれ頭打ちになり、世界も人口減少社会を迎えます。ピークが100億人とも90億人とも。未来予測調査機関の違いで1割程度の差があるようです。以下に日本政府と幻冬舎の予測のサイトをご紹介します。

[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/zenbun/s1\\_1\\_2.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/zenbun/s1_1_2.html)

幻冬舎ネット記事

<https://gentosha-go.com/articles/-/33265>

日本は30年前にこの事実を認識していたのですが・・・問題先送りし続けて今になっても先送りを続けています。そして日本の大問題は人口減少だけではなく・・・生産労働人口×1人の生産性・・・労働者1人の生産性も老化現象をおこしています。30年前世界1位であった国際競争力は現在34位まで凋落しつつあり、凋落曲線は30年間多少の上下のブレはありますが一方的な右下がりです。

この低下傾向は今後も続くと言われます。この二つの指標が両方とも激減している事が大問題です。日本人は寛容度が世界最低レベルですから移民も増えないと思いますけどね・・・誰だって衰退し続けている国でなおかつ歓迎されない所には行きませんね！

今回のアフガン撤退でも大使館員は撤退期限の15日も前に自分だけ逃げ、協力者500人を放置してきた事は世界中に拡散していますよ！！！！（大使館員逃走でビザが出ないので500人は自力でも逃げられない）

日本大使館員は8月15日にイギリス軍機に乗せてもらって在留邦人を置いて逃げましたが、イギリスの大使館員はアフガンに残ってビザ発給などの業務をこなしてる⇒世界に拡散

日本の自衛隊機はたった1人の日本人を載せて隣国パキスタンに飛行・・・500人は空港にいないという事で知らん顔・・・隊員を山ほどかけて、ドデカイC30輸送機に日本人1人だけ・・・そしてそのことが非難されると後出し情報として下記。

アフガニスタンに残る日本人などの国外退避で、自衛隊は8月27日夜、輸送機で隣国パキスタンに日本人1人を退避させましたが、これに加え、26日、アフガニスタン人、十数人をパキスタンに輸送していたことが関係者への取材で分かりました⇒何故に後出し？？？捏造？？？

## Q5：防災の情報収集の手段として、どの媒体にどのくらいの時間をかけていますか？ 参考となる書籍などがありますでしょうか？

私は平成7年の阪神大震災に現地に赴いてから必死に勉強をしまくって、もう26年間学び続けています。そして防災関連の書籍や論文も殆ど読み込んでいます。もちろん、ネットでの被災地の生情報もくまなくチェックをしています。防災オタクと言っても過言でない程、ライフワークとなっております。時間は平均すれば1週間に10時間ほどは調査をしていると思います。

時折テレビのコメンテーターとして出る防災システム研究所の山村武彦さんのサイトや書籍も初心者向けで理解しやすいとおもいますよ・私は山村さんの書籍は全て完読ですよ！以下サイトです。

<https://www.bo-sai.co.jp/>

### ★総合的なご提案

日本で生きていく為にはとにかく・真なる学び・・・を出来る限り継続し続けるしか道はありません。時間の多くを断捨離し、生み出した時間で、一つにはこれからの時代に合致した世界に価値あるスキルアップをし続ける（幸せバケツの水道水を増やす）。そしてもう一つはリスクリテラシーを高め続け実行力のあるバケツの穴塞ぎをするしか他に道はありません。

私は日々5時間前後の読書や研究を毎日欠かさず行い、そしてその学びを毎日原稿用紙5～7枚くらいに書き出してみても自分の頭の中を再検証しています。その一部がブログですけどね・・・

とにかく真に学び、それを行動で実践し続ける事が出来ないと衰退国日本ではなかなかシンドイ人生になる事は間違いない事ですよ！！日本はリーダーがド悪すぎます！それを望むイデオクラシーの民族、それが日本人です。是非に・書籍『失敗の本質』をしっかり読み込み日本人の負のDNAの持つ恐ろしさを理解してください。まずはそこが真なる学びが可能になるスタートラインです。

今回は弊社WEBセミナー「防災」にご参加いただきまして心より御礼申し上げます。

ご意見・ご質問誠にありがとうございました。

また来月のWebセミナー「シークレット」で共に学び抜きましょう。

**次回は10月9日(土)シークレットセミナーを開催します。ぜひご参加下さい**